第133号

町長の「しごと日記」



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【祭り囃子が心地よく町に響き渡る・・・】

津軽海峡から吹く風も涼しさを増し、秋を感じる季節となりました。

９月12日（土）・13日（日）、好天の中、福島大神宮例大祭が行われ、私も朝８時から役場玄関前で行列をお迎えさせていただきました。天狗さんを先頭に四ケ散米行列や奴行列が続き、その後に、各町内会の山車も到着し踊り子さんたちが華やかな踊りを披露しておりました。

また、２日目には、道南うみ街信用金庫前で100人総踊りを見学させていただきました。壮観な踊りや鮮やかな山車に見入って、沿道では多くの方々が拍手を送っておりました。

９月17日（木）、福祉センターにおいて、秋の交通安全祈願祭および町民大会を実施いたしました。町では交通事故死ゼロ3,000日を達成し、現在も継続中であり、町民の皆さまのご協力に改めて感謝とお礼を申し上げます。

引き続き、交通安全を日々心がけていただくようお願いいたします。

９月19日（土）、総合体育館において敬老会が行われ、多くの方々に参加をいただき、参加者を代表して松岡清悦・清子ご夫妻に花束を贈呈させていただきました。今年は38人の方がめでたく米寿を迎えられ、代表して、中一男さんと西田スミエさんへ記念品を贈呈させていただきました。長寿番付で３名の方が100歳を超えており、前日の18日（金）には、100歳を迎えられる中山政子さんへ高市早苗内閣総理大臣からの賞状と記念品および町からのお祝いを贈呈させていただきました。おめでとうございます。

９月25日（金）、青森市内において第二青函トンネルの実現に向けた青森県議会議員との合同勉強会が行われ、今別町の阿部町長と共に参加をいたしました。

９月29日（火）、檜山地区のせたな町で北海道町村会の正副会長会議および理事会が開催され、当面する諸課題などについて議論いたしました。通常、当会議は札幌で行われるのが通例ですが、年に１回地方で開催しており、この度は、せたな町での開催となりました。全道14振興局の各町村会の正副会長が一堂に会し、私は初めての参加でしたが、先輩の首長と交流ができ貴重な経験をすることができました。

10月７日（水）、蝦夷アワビの陸上養殖を手掛けている岩手県の北日本水産株式会社の古川社長と共に、東京都の自由民主党本部を訪問し、鈴木俊一自由民主党幹事長に、町と北日本水産株式会社が計画しているアワビ陸上養殖の事業概要を説明し、財政的な支援を要請してまいりました。

また、夕方には、当町と包括連携協定などを締結している東京方面の企業と懇談会を開催いたしました。懇談会には、クミアイ化学工業株式会社、株式会社バイウィル、品川リフラ株式会社、北日本水産株式会社、日本風力開発株式会社などの参加をいただき、当町からは地域振興公社（農業生産法人）および一般社団法人福島町まちづくり工房が参加し、町の施策紹介や各企業の自己紹介の後、活発な意見交換が行われ、新たな取り組み、展開が期待されるような雰囲気を感じました。